河合文化教育研究所のクロニクル

2023/3/14

	題名	備考	資料（内容／所蔵場所）
1984年			
［シンポジウム］	河合文化教育懇談会　日仏シンポジウム「日本の心・フランスの心」（8月）東京	河合文化教育懇談会〔河合文化教育研究所の前身〕	
［シンポジウム］	河合文化教育研究所設立記念　日仏シンポジウム「青年の現在〈パリ―名古屋〉」（11月）名古屋		
1985年			
1986年			
［就任］	倉田令二朗氏（数学基礎論）主任研究員就任（4月）		
［シンポジウム］	日独シンポジウム「自己――精神医学と哲学の観点から」（9月）名古屋		
［出版］	ブックレット1『マザコン少年の末路』上野千鶴子　著		
［出版］	ブックレット2『科学とのつき合い方』高木仁三郎　著		
［出版］	ブックレット3『現代文学はどこで成立するか』北川透　著		
［出版］	ブックレット4『ディドロの〈現代性〉』中川久定　著		
［出版］	ブックレット5『境界線上のトマト　『遠雷』はどこへ行くか』立松和平　著		
［出版］	ブックレット6『近代を裏返す　魔術的世界からSFまで』笠井潔　著		
1987年			
［就任］	小田実氏（作家）主任研究員就任（4月）		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「ガウス2次形式論」（2月）名古屋		
【講座】	京都金曜公開講座「現代をどう見るか」連続8回		
［講座］	第1回（10/16）現代の政治をどう見るか「憲法・政治・政策」講師・土井たか子		
［講座］	第2回（10/23）現代の人間をどう見るか「幸福の行方」講師・瀬戸内寂聴		
［講座］	第3回（10/30）現代の歴史をどう見るか「ナショナリズムの盛衰」講師・久野収		
［講座］	第4回（11/6）現代の農業をどう見るか「自民党長期政権の秘密」講師・飯沼二郎		
［講座］	第5回（11/13）現代の日本をどう見るか「第三世界の視座から」講師・ルーベン・アビト		
［講座］	第6回（11/20）現代の科学をどう見るか「科学と民主主義」講師・柴谷篤弘		
［講座］	第7回（11/27）現代の経済をどう見るか「メリトクラシーと経済」講師・伊東光晴		
［講座］	第8回（12/1）現代の世界をどう見るか「日本を見る目・アジアを見る目・世界を見る目」講師・小田実		
［出版］	ブックレット7『学問に何ができるか』花崎皋平　著		
［出版］	ブックレット8『〈情報〉を越えて』柴谷篤弘　著		
［出版］	ブックレット9『数学の天才と悪魔たち　ノイマン・ゲーデル・ヴェイユ』倉田令二朗　著		
［出版］	ブックレット10『思想の現在　実存主義・構造主義・ポスト構造主義』今村仁司　著		
［出版］	ブックレット11『人と人とのあいだの病理』木村敏　著		
［出版］	ブックレット12『幻の王朝から現代都市へ　ハイ・イメージの横断』吉本隆明　著		
［出版］	ブックレット13『ミミズと河童のよみがえり　柳川堀割から水を考える』広松伝　著		
［出版］	数学シリーズ1　数学の古典探訪『古典へのプレリュード』倉田令二朗　著		
［出版］	数学シリーズ2　数学の古典探訪『古典へのインターリュード』倉田令二朗　著		
［出版］	数学シリーズ3　数学の古典探訪『ガウス2次形式論（1）』倉田令二朗　著		
［出版］	数学シリーズ4　数学の古典探訪『ガロア方程式論（1）』倉田令二朗　著		
1988年			
【シンポジウム】	日独シンポジウム「日独文学者の出会い――この激動と変革の時代における文学」		
［シンポジウム］	「東京での出会い」（東京ドイツ文化センター）（6/21）		

［シンポジウム］	「広島での出会い」（中国新聞社大ホール）（6/23）		
［シンポジウム］	京都講演会「古典と現代・東洋と西洋」（京都ドイツ文化センター）（6/25）		
［シンポジウム］	「名古屋での出会い」（河合塾名駅キャンパス16号館サクセスホール）（6/26）		
［シンポジウム］	若い人々とのシンポジウムジウム「異文化としての外国語」（一ツ橋ホール）（6/28）		
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「ガウス2次形式論」（9月）大阪		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「数学基礎論の真髄」（10月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「数学基礎論の真髄」（12月）京都		
［出版］	ブックレット14『映画からの解放　小津安二郎「麦秋」を見る』蓮實重彦　著		
［出版］	ブックレット15『言葉・文化・無意識』丸山圭三郎　著		
［出版］	数学シリーズ5　数学の古典探訪『ガウス初等整数論』倉田令二朗　著		
［出版］	数学シリーズ6　数学の古典探訪『ガウス円分方程式論』倉田令二朗　著		
［出版］	数学シリーズ7　数学の古典探訪『ガウス2次形式論（2）』倉田令二朗　著		
［出版］	数学講義10『微分方程式の話』斎藤利弥　著		

1989年

［シンポジウム］	日独シンポジウム「歴史とアイデンティティー」第1回（9月）全4回	京都ドイツ文化センター主催（共催）	
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「集合論の真髄」（東京　6月）		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「集合論の真髄」（京都　12月）		
【講座】	芦川進一のドストエフスキイ講座「ドストエフスキイ『夏象冬記』を読む――」全8回		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第1講　「序にかえて」ドストエフスキイの生涯と問題点――様々な終末感覚（5/27）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第2講　「車中で」ドストエフスキイの作品と問題点――カーニバル空間（6/10）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第3講　「無用なる一章」ドストエフスキイのロシア的背景――TOCKA・タスカ空間（7/8）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第4講　「旅行者に無用ならざる一章」「バアル神」ロンドンとの対決――キャロルの不思議の地下室（7/8）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第5講　「ブルジョワ試論」（一）パリとの対決――ボードレールの悪の地下室（9/9）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第6講　「ブルジョワ試論」（二）二つの西欧体験――福沢諭吉の『夏象冬記』（9/30）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第7講　「ブルジョワ試論」（三）同時代の巨人たち――アンデルセン、もう一つの分身（10/21）		
［講座］	芦川進一のドストエフスキイ講座　第8講　「前に続く」「ブリブリとマビシュ」ドストエフスキイと聖書――『夏象冬記』の終末論（11/1）		
［出版］	ブックレット16『近代をどうとらえるか』三島憲一　著		
［出版］	ブックレット17『ファッションという装置』鷲田清一　著		
［出版］	ブックレット18『小田実の英語50歩100歩　「自まえの英語」をどうつくるか』小田実　著		

1990年

［シンポジウム］	日仏教育シンポジウム「ボンジュール学校・アデュー学校」（10月）名古屋、東京		
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「リーマン予想と確率論」（6月）東京		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P=NP　挑戦する3つの戦略」（11月）東京		

［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P=NP　挑戦する3つの戦略」（12月）京都		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P=NP　挑戦する3つの戦略」（12月）名古屋		
【講座】	文学思想講座		
［講座］	文学思想講座「市民の自由と市民の論理――閉じた社会から開かれた社会へ」久野収（10月）東京		
［講座］	文学思想講座「わが生涯」堀田善衛（10月）東京		
［出版］	ブックレット19『古代史は変わる』森浩一　著		
［出版］	ブックレット20『ペシャワールからの報告　現地医療現場で考える』中村哲　著		
［出版］	数学講義11『複素関数論入門』斎藤利弥　著		
［出版］	数学講義12『ゲーデルの夢』竹内外史　著		
［出版］	河合おんぱろす　創刊号［特集］『予備校というブラックホール』		

1991年

［シンポジウム］	「戦後日本の中国史論争」（1月）京都		
【講座】	文学思想講座		
［講座］	文学思想講座「小説とは本当は何か」中村真一郎（3月）東京		
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「基礎論と数論・ラズボロフの理論P＝NP問題第2弾」（9月）東京		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「基礎論と数論・ラズボロフの理論P＝NP問題第2弾」（11月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「基礎論と数論・ラズボロフの理論P＝NP問題第2弾」（12月）京都		
［講演］	「フォーディズム・ボルボイズム・トヨティズム――日本的経営の国際比較」ロベール・ホワイエ		
［出版］	ブックレット21『半生の思想』最首悟　著		
［出版］	ブックレット22『ヨーロッパ史をいかに学ぶか』阿部謹也　著		
［出版］	『線型微分方程式とフックス関数Ｉ――ポアンカレを読む』斎藤利弥　著		

1992年

［受章］	河合文化教育研究所所長河合斌人　教育功労勲章（パルム・アカデミク・オフィシエ）受章（9月）		
【講座】	文学思想講座		
［講座］	文学思想講座　小田実「異者としての文学」（1月）		
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P＝NP問題をめぐる2，3の話題」（11月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P＝NP問題をめぐる2，3の話題」（12月）京都		
［出版］	『小説とは本当は何か』中村真一郎　著		
［出版］	『異者としての文学』小田実　著		
［出版］	『Diderot.Le XVIIIe Siecle en Europe et au Japon』Actes recueillis par Hisayasu NAKAGAWA	（1988年仏で出版したもの）	
［出版］	『EC経済統合とヨーロッパ政治の変容――21世紀に向けたエコロジー戦略の可能性』住沢博紀他編著		
［出版］	河合おんぱろす　第2号［特集］『「学校以後」の時代へ』		

1993年

［シンポジウム］	日独シンポジウムジウム「日本とドイツの若者は――いま」（10月）名古屋		
［セミナー］	「北京大学サマーセミナー《シルクロードと敦煌文化に触れる》」（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「P=NP問題をめぐる2,3の話題」（1月）東京		

［出版］	ブックレット23『世界のなかの日本映画』山根貞男　著		
［出版］	ブックレット24『世紀末世界をどう生きるか――「新右翼」の立場から』鈴木邦男　著		
［出版］	『戦後日本の中国史論争』谷川道雄編著		
［出版］	『モガディシオ窓際席』F・C・デリウス著　越智和弘訳		

1994年

［就任］	木村敏（精神医学）、谷川道雄（東洋史）、中川久定（仏文学史）、廣松渉（哲学）氏が主任研究員に就任（4月）		
［シンポジウム］	日中学術討論会「日本学者研究中国史論著選訳」出版慶祝学術討論会」（5月）		
［講演］	主任研究員特別講演会「既存の学問方法と枠組みを越えて」　木村敏、倉田令二朗、谷川道雄、中川久定　（9月）名古屋		
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「解析学・経済学　同時入門」（6月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「解析学・経済学　同時入門」（7月）東京		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「解析学・経済学　同時入門」（9月）京都		
［セミナー］	「北京大学サマーセミナー」《シルクロードと敦煌文化に触れる》（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
［出版］	ブックレット25『海から見た日本史像――奥能登地域と時国家を中心として』網野善彦　著		
［出版］	「日本学者研究中国史論著選訳」全10巻（中華書局、河合文化教育研究所賛助、中国にて発行）		
［出版］	『埴谷雄高　語る』話し相手・栗原幸夫		
［出版］	河合おんぱろす　増刊号　上野千鶴子著『「マザコン少年の末路」の記述をめぐって』		
［出版］	『線型微分方程式とフックス関数Ⅱ――ポアンカレを読む』斎藤利弥　著		

1995年

［シンポジウム］	戦後50年シンポジウム「東アジア史を問い直す――「戦後50年」を超えて――」（9月）大阪		
［シンポジウム］	日独シンポジウム「医学における人間」（11月）名古屋		
［セミナー］	「北京大学サマーセミナー《変貌する中国に触れる――三国志の舞台と揚子江流域をめぐる旅》」（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「数学基礎論その21世紀への展望」（6月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「数学基礎論その21世紀への展望」（7月）東京		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「数学基礎論その21世紀への展望」（10月）京都		
［出版］	ブックレット26『何が不自由で、どちらが自由か　ちがうことこそばんざい』牧口一二　著		
［出版］	ブックレット27『〈市民的政治文化〉の時代へ　主権国家の終焉と「グローカリズム」』今井弘道　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ　第0巻　『数学基礎論へのいざない』倉田令二朗著		

1996年

［就任］	長野敬氏（分子生物学）主任研究員就任（4月）		
［シンポジウム］	国際衛星シンポジウム「日・中・韓の大学入試統一試験を社会的・文化的に比較分析する」（9月～10月）		
［シンポジウム］	日独シンポジウム「生命論《医学的人間学――西欧的主体と東洋的主体》」（10月、11月）		
［セミナー］	「北京大学サマーセミナー《北京・上海・西安――歴史のロマンに触れる》」（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
【講座】	倉田令二朗の数学探訪講座		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「PとNPの再入門、再定義」（7月）東京		

［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「PとNPの再入門、再定義」（9月）名古屋		
［講座］	倉田令二朗の数学探訪講座「PとNPの再入門、再定義」（10月）京都		
［講演］	特別講義「翻訳理性批判をめざして」講演者：中川久定（2/3）		
［講演］	特別講義「フロイトの読み方」講演者:パトリック・J・マホーニイ（4/20）		
［出版］	ブックレット28『歴史のなかの「戦後」』栗原幸夫　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第1巻『入門数学基礎論』倉田令二朗　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第2巻『公理論的集合論』倉田令二朗・篠田寿一　著		
［出版］	河合おんぱろす特別号『東アジア史を問い直す――「戦後50年」を超えて』谷川道雄、李成市、溝口雄三、B・バートン、孫歌著		

1997年

［シンポジウム］	「中・日・韓三国関係と東北アジアの平和的発展について」（10月、北京大学東北アジア研究所と共催）北京		
［シンポジウム］	「18世紀世界の中のヨーロッパ、中国および日本――新しい研究視角の必要性」（11月）名古屋		
［セミナー］	「北京大学サマーセミナー《大草原の風に吹かれて――首都北京からチンギスハンの故郷へ》」（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
［出版］	ブックレット29『からだ・こころ・生命』木村敏　著		
［出版］	ブックレット30『アジアと出会うこと』加々美光行　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第3巻『モデルの理論』坪井明人　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第4巻『逆数学と2階算術』田中一之　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第5巻『帰納的関数と述語』篠田寿一　著		
［出版］	数学基礎論シリーズ第6巻『超準解析とファインマン経路積分』中村徹　著		
［出版］	河合おんぱろす特別号『隕ちた「苦艾（にがよもぎ）」の星――ドストエフスキイと福沢諭吉』芦川進一　著		

1998年

［セミナー］	「北京大学サマーセミナー《近代史の意味を考える――上海、南京、北京、大連、旅順》」（8月）	河合文化教育研究所・北京大学歴史部共同企画	
［出版］	『分裂病の詩と真実』木村敏　著		
［出版］	『シュヴァイツァー博士とともに――「生命への畏敬」のいざない』L・J・アール著　加茂映子訳		
［出版］	『線型微分方程式とフックス関数Ⅲ――ポアンカレを読む』斎藤利弥　著		

1999年

［シンポジウム］	「苦悩の道――法治体制を目指す現代中国」（11月）名古屋		
【講座】	谷川道雄歴史講座「中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録」（全4回）		
［講座］	谷川道雄歴史講座「中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録」第一回「生きた人間の歴史とは何か」（10/30）		
［講座］	谷川道雄歴史講座「中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録」第二回「唐帝国の源流を求めて」（11/6）		
［講座］	谷川道雄歴史講座「中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録」第三回「中国中世像をめぐる論戦」（11/13）		
［講座］	谷川道雄歴史講座「中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録」第四回「21世紀への示唆」（11/20）		
［出版］	ブックレット31『グレートジャーニー　2001年地球の旅「進歩」はヒトに何をもたらしたのか？』関野吉晴　著		
［出版］	『崇高について』小田実・「ロンギノス」　著		

2000年

［シンポジウム］	第1回河合臨床哲学シンポジウム「内省の構造――長井真理没後10年精神病理学シンポジウム」（12月）名古屋		
［出版］	中村雄二郎、木村敏監修『講座生命2000』第4巻「共通感覚論の可能性」（5月）		

2001年

［シンポジウム］	第2回河合臨床哲学シンポジウム「臨床哲学の可能性――木村敏著作集刊行を記念して」（11月）名古屋		
［シンポジウム］	日中学術討論会「魏晋南北朝隋唐時代の歴史的特質」（12月）京都		
［出版］	『内藤湖南の世界――アジア再生の思想』内藤湖南研究会編著		
［出版］	中村雄二郎、木村敏監修『講座生命2001』第5巻「『場所』をめぐって」		
［逝去］	倉田令二朗主任研究員（8/8）	倉田令二朗さんをしのぶ会　福岡（10/21）、名古屋（11/2第一部「倉田令二朗さんを追悼する会、第二部「倉田令二朗さんを和やかにしのぶ会」）、東京（11/3）	

2002年

［シンポジウム］	第1回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代」（3月、共催北京大学歴史学系）北京		
［出版］	中村雄二郎、木村敏監修『講座生命2002』第6巻「臨床哲学の可能性」		
［出版］	『文化のなかの数学　付・思い出の倉田令二朗』齋藤正彦　著		

2003年

［受賞］	木村敏主任研究員、第15回和辻哲郎文化賞受賞（2月）		
［シンポジウム］	第2回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代」（3月）北京　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第3回河合臨床哲学シンポジウム「交錯する自己――ブランケンブルク追悼記念」（6月）東京		
［研究会］	第1回文教研合同研究会（9月）	「各研究会の活動報告」	
［出版］	ブックレット32『歴史のなかの文学・芸術　参加の文化としてのファシズムを考える』池田浩士　著		
［出版］	河合おんぱろす特別号『中国史とは私たちにとって何か――歴史との対話の記録――』谷川道雄　著		
［出版］	文教研レポート春号	〔関西地区の塾生に配布　2003～2011〕「創刊に当たって」丹羽健夫《講演会に参加して知的バックグランドを広げよう、主任研究員の先生方はきみの大切な助っ人となる》「河合文化教育研究所について――境界線上での格闘」	
［出版］	文教研レポート夏号	「本の森の中で」中川久定	
［出版］	文教研レポート秋号	「本の森の中で」中川久定　「大学再編の現状はどうなっているか」牧野剛	

2004年

［就任］	丹羽健夫氏（教育学）主任研究員就任（6月）		
［受賞］	中川久定主任研究員、レジオン・ドヌール勲章受賞（12月）		
［シンポジウム］	第3回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代」（8月）京都　共催北京大学歴史学系　「社会と国家の関係から見た漢から唐への変遷」共催（10月）上海		
［シンポジウム］	第4回河合臨床哲学シンポジウム「越境する身体」（11月）東京		
［研究会］	第2回合同研究会（9月）	差別問題研究会（菅孝行）、経済研究会（今井弘道）《「丸山真男を手掛かりに、グローバル時代の日本の現在を考える》	

［研究会］	第1回教養教育を考える会「本当の教養教育とは――ルソーと私――」中川久定（11月）		
［出版］	中村雄二郎、木村敏監修『講座生命2004』第7巻〈特集〉自己――視点の交錯の中で		
［出版］	ブックレット33『9.11以後　丸山真男をどう読むか』菅孝行　著		
［出版］	文教研レポート春号	「大学はどこへ向かおうとしているか」丹羽健夫	
［出版］	文教研レポート夏号	「本の森の中で」中川久定	

2005年

［シンポジウム］	第4回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代」（8月）京都　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第5回河合臨床哲学シンポジウム「気分の現象学と病理」（12月）東京		
［研究会］	第3回合同研究会（9月）	内藤湖南研究会（谷川道雄）・日本近代思想史研究会（渡辺京二）《日本近代とアジア的共同性》	
［研究会］	第2回教養教育を考える会「テクストをどう読むか」（10月）中川久定		
［出版］	『研究論集』第1集	「アジアの歴史と近代（1）、（2）」	
［出版］	文教研レポート春号　「受験の先の人生のために――文化イベントに積極的な参加を」恩庄良治		

2006年

［就任］	渡辺京二氏（日本近代・思想史）特別研究員就任（4月）		
［シンポジウム］	第5回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代」（8月）京都　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第6回河合臨床哲学シンポジウムジウム「〈かたり〉の虚と実」（12月）東京		
［研究会］	第4回合同研究会（8月）	高等教育研究会（丹羽健夫）・現代と教育研究会（八木暉雄）《新しい教養教育とは何か》	
［出版］	ブックレット34『戦後日本から現代中国へ　中国史研究は世界の未来を語り得るか』谷川道雄　著		
［出版］	『十八世紀における他者のイメージ　アジアの側から、そしてヨーロッパの側から』中川久定、J.シュローバハ編		
［出版］	木村敏、坂部恵監修『身体・気分・心　臨床哲学の諸相』		
［出版］	『研究論集』第2集	「アジアの歴史と近代（3）、（4）」	
［出版］	『研究論集』第3集	「20世紀の戦争・紛争をめぐる国際政治（1）」	
［出版］	文教研レポート春号	「伝記の翻訳――ノーベル賞受賞3人をめぐって」長野敬　「進行する二極化現象――理解状況や成績をめぐって」牧野剛	

2007年

［受賞］	中川久定主任研究員、第25回京都府文化賞特別功労賞受賞（1月）		
［シンポジウム］	「廣松渉とマルクス主義哲学」（4月、南京大学と共催）東京		
［シンポジウム］	第7回河合臨床哲学シンポジウムジウム「〈作ること〉と〈作りごと〉」（12月）東京		
［研究会］	第5回合同研究会（8月）	心身論研究会（木村敏）《自己・こころ・脳》	
［出版］	『『罪と罰』における復活――ドストエフスキイと聖書』芦川進一　著		
［出版］	『研究論集』第4集	「アジアの歴史と近代（5）」「ヨーロッパにおける知と社会」	
［出版］	文教研レポート春号　「一般教育の廃止と新しい教養教育の模索」八木暉雄　「奇妙な話――谷川道雄著『戦後日本から現代中国へ』を読んで」		

2008年

［シンポジウム］	第6回日中共同学術討論会「アジアの歴史と近代――シルクロードと東西文化交流――日中の歴史、文化と教育」（3月）新疆ウイグル自治区石河子市　共催北京大学歴史学系、石河子大学		
［シンポジウム］	第8回河合臨床哲学シンポジウム「空間――開けとひずみ」（12月）東京		
［研究会］	第6回合同研究会（8月）	内藤湖南研究会（谷川道雄）《中国民衆はいまどこに立っているか》	
［出版］	『研究論集』第5集「内藤湖南研究――学問・思想・人生――」		
［出版］	文教研レポート春号　「自我と研究人生」谷川道雄		

2009年

［シンポジウム］	第7回日中共同学術討論会「唐宋変革と東アジア世界」（8月）名古屋　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第9回河合臨床哲学シンポジウム「時のはざま――クロノスとカイロス」（12月）東京		
［研究会］	第7回合同研究会（8月）	「各研究会の活動報告」	
［出版］	ブックレット35『アートを通した言語表現　美術と言葉と私の関係』宮迫千鶴　著		
［出版］	木村敏、坂部恵監修『〈かたり〉と〈作り〉　臨床哲学の諸相』		
［出版］	『研究論集』第6集	「アジアの歴史と近代（6）――シルクロードと東西文化交流――日中の歴史、文化と教育」	
［出版］	『研究論集』第7集	「東アジアの歴史と現代研究会」「内藤湖南特集補論」	
［出版］	文教研レポート春号	「当節三題噺（2008年末）」中川久定	

2010年

［受賞］	木村敏主任研究員『精神医学から臨床哲学へ』が第64回毎日出版文化賞受賞		
［受賞］	渡辺京二特別研究員『黒船前夜――ロシア・アイヌ・日本の三国志』が第37回大佛次郎賞／第60回熊日賞受賞		
［シンポジウム］	第8回日中共同学術討論会「世界史としての中国史」（8月）京都　共催北京大学歴史学系、龍谷大学文学研究科東洋史学専攻		
［シンポジウム］	第10回河合臨床哲学シンポジウム「自己――語りとしじま」（12月）東京		
［研究会］	第8回合同研究会（8月）	「女性論・男性論研究会」（青木和子）《「女性論・男性論研究会」の立ち位置》、「経済研究会」《自由放任、安価な政府そして経済人とアダム・スミス》、「ドストエフスキイ研究会」（芦川進一）《「地下室」の延長としての予備校の》	
［出版］	『土地を奪われゆく農民たち――中国農村における官民の闘い』王国林著、谷川道雄監訳　中田和宏・田村俊郎訳		
［出版］	『廣松渉　マルクスと哲学を語る――単行本未収録講演集』廣松渉著、小林昌人編		
［出版］	『研究論集』第8集	「アジアの歴史と近代（7）唐宋変革と東アジア世界」「アジアの歴史と近代（8）世界史としての中国史」	
［出版］	文教研レポート春号	「遺伝子の見方」長野敬　「小さな書斎の内部を巡る旅――ディドロ著『古い部屋着に対する哀借の思い』を思い浮かべながら」中川久定　「《キムパの会》活動を終えて――予備校という場の《可能性》」	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	

2011年

［受賞］	木村敏主任研究員、第30回京都府文化賞特別功労賞受賞		
［シンポジウム］	第9回日中共同学術討論会「東アジアと遊牧社会」（7月）内モンゴル自治区フフホト市　共催北京大学歴史学系、内モンゴル大学、内モンゴル師範大学		
［シンポジウム］	第11回河合臨床哲学シンポジウム「他者の諸相、他性の諸相」（12月）東京		

［研究会］	第9回合同研究会	「身体表現教育研究会」（原田伸雄）《危機に立つ肉体――異和と響き》、内藤湖南研究会（山田伸吾）《内藤湖南と現代》」（8月）	
［出版］	ブックレット36『新たなグローバリゼーションの時代を生きて』太田昌国　著		
［出版］	木村敏・野家啓一監修『空間と時間の病理――臨床哲学の諸相』		
［出版］	文教研レポート春号	「中国民衆の新しい動向」谷川道雄　「フルシチョフ、マリノフスキー、コシャリー、そしてもう一人――私の人生を通り過ぎていったヨーロッパ現代史の3人と、無名の女子ガイド」中川久定	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	

2012年

［シンポジウム］	「現代中国農民運動の意義――前近代史からの考察――」（7月）京都		
［シンポジウム］	第12回河合臨床哲学シンポジウム「臨床哲学とは何か」（12月）東京		
［研究会］	第10回合同研究会（8月）	「20世紀国際政治史研究会」（加藤正男）《20世紀前半の国際政治史の諸問題》、漢文訓読研究会（藤堂光順）《漢文訓読の歴史と中国の鬼神の世界》、丹羽健夫《愛知の寺子屋　教育学部以前・以後》	
［出版］	ブックレット2『科学とのつき合い方』〈新装版〉高木仁三郎　著		
［出版］	ブックレット37『福島原発事故　原発を今後どうすべきか』小出裕章　著		
［出版］	ブックレット38『伊豆高原アートフェスティバルの不思議』谷川晃一　著		
［出版］	『研究論集』第9集	「アジアの歴史と近代（9）東アジアと遊牧社会」「現代中国農民の維権（権利擁護）運動――中国学界の討論をめぐって」	
［出版］	『研究論集』第10集	「現代中国農民運動の意義ー前近代史からの考察ー」	
［出版］	文教研の栞　夏号	「中国農民に夢を託す」谷川道雄　「近況――28歳から81歳まで」中川久定　「地球環境と人類の進化」長野敬　「寺子屋に凝る」丹羽健夫　「わが誇大妄想」渡辺京二　特集：渡辺京二先生	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	

2013年

［就任］	渡辺京二氏（日本近代・思想史）主任研究員就任（前特別研究員）（4月）		
［就任］	牧野剛氏　特別研究員就任（4月）		
［シンポジウム］	第10回日中共同学術討論会「現代」と歴史学（8月）京都　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第13回河合臨床哲学シンポジウム「臨床哲学とは何かⅡ」（12月）東京		
［研究会］	第11回合同研究会（8月）	「差別問題研究会」菅孝行《原発廃絶運動と差別批判のアポリア》「東アジアの歴史と現代研究会」、八箇亮仁《民権期における日朝中連携の模索――甲申政変・大阪事件そして中江兆民》	
［出版］	木村敏・野家啓一監修『「自己」と「他者」――臨床哲学の諸相』		
［出版］	文教研の栞　秋号	「書くことが考えることになる」木村敏　「日本人の留学――長州ファイブ」丹羽健夫　「私の近況」渡辺京二　「私の近況」中川久定　「二つの基準」長野敬　「私が考えてきたこと」牧野剛　特集：谷川道雄先生	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	
［逝去］	谷川道雄（87）主任研究員（6/7）	谷川道雄先生をしのぶ会（10/6）京都（第一部「谷川道雄先生を追悼する会」第二部「谷川道雄先生を和やかにしのぶ会）	

2014年

［シンポジウム］	第11回日中共同学術討論会「日中民間交流の昨日と明日」（8月）吉林省長春市　共催北京大学歴史学系、東北師範大学歴史文化学院		
［シンポジウム］	第14回河合臨床哲学シンポジウム「生命――ビオスとゾーエー」（12月）東京		
［研究会］	第12回合同研究会（8月）	「日韓文化交流研究会」新井勝憲《イルム裁判」が照らし出す日本社会の〈現在〉》、「国語教育の再構築研究会」結城敦司《中等教育における「読む力」とはどういう力か》　特別発表「新テストについて」牧野剛	
［出版］	ブックレット39『国家神道と戦前・戦後の日本人――無宗教になる前と後』島薗進　著		
［出版］	研究論集　第11集	「アジアの歴史と近代（10）「現代」と歴史学」、「近代における中国と世界の相互認知―内藤湖南と中国－」	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	

2015年

［シンポジウム］	生物学シンポジウム「生命機能における再生の現代像」（7月）東京		
［シンポジウム］	第15回河合臨床哲学シンポジウム「生きられる死」（12月）東京		
［研究会］	第13回合同研究会（8月）	「カブリ・ジオメトリ研究会」福島洋一《数学の概念の動的な視覚化》、「認知と記号研究会」《オットー・イェスペルセン――伝統文法前衛派としての意義》柳原慎也、コメント小林一路　特別提言　茅嶋洋一（日本近代思想史研究会）《予備校河合塾の現在と文教研》	
［出版］	木村敏・野家啓一監修『臨床哲学とは何か――臨床哲学の諸相』		
［出版］	研究論集　第12集	「20世紀の戦争・紛争をめぐる国際政治（2）柳沢英二郎「戦後国際政治史」研究への再評価と挑戦」、「日中民間交流の昨日と明日」	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集	全塾生に配布（2010～2015）	

2016年

［シンポジウム］	第12回日中共同学術討論会「近代化と地方史」（8月）雲南省臨滄市　共催北京大学歴史学系、〓西科技師範学院		
［シンポジウム］	第16回河合臨床哲学シンポジウム「人称――その成立とゆらぎ」（12月）東京		
［研究会］	第14回合同研究会（8月）	各研究会の発表	
［出版］	河合文化教育研究所からの推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集		
［出版］	『カラマーゾフの兄弟論――砕かれし魂の記録』芦川進一　著		
［逝去］	牧野剛（70）特別研究員（5/20）、「牧野剛さんを偲び語る会」（9/25）		

2017年

［シンポジウム］	第17回河合臨床哲学シンポジウム「非人称・前人称・無人称」（12月）東京		
［研究会］	第15回合同研究会	各研究会の発表。これからの文教研について――高大接続問題と「大学入学共通テスト（仮称）記述式問題例」などをめぐって（8月）	
［出版］	木村敏・野家啓一監修『生命と死のあいだ――臨床哲学の諸相』		
［出版］	研究論集　第13集　「近代化と地方史」		
［出版］	読書の薦め『わたしが選んだこの一冊』編集　全塾生に配布　（2017～2018）		

［逝去］	中川久定（87）主任研究員（6/18）		
［逝去］	長野敬（89）主任研究員（10/25）		

2018年

［シンポジウム］	第13回日中共同学術討論会「東アジア世界の歴史と現代ーグローバル化の中でー」（8月）京都　共催北京大学歴史学系		
［シンポジウム］	第18回河合臨床哲学シンポジウム「あいだと間」（12月）東京		
［研究会］	第16回合同研究会（8月）	「なぜいま〈高大接続改革〉か――新自由主義的教育改革をめぐって」発表1）日本における近代公教育の歴史と現在――予備校河合塾が当面する現況」（茅嶋洋一）、発表2）「大学入試と教育の荒廃――「試行テスト」記述問題を手がかりに」（菅孝行）、発表3）「臨教審以降の日本の新自由主義教育を考える」（青木和子）	
［講演］	「なぜ脳死臓器移植と安楽死・尊厳死は推進されるのか－生資本主義・生権力・人間の尊厳－」小松美彦（9月）東京		
［出版］	ブックレット40『グローバル資本主義の破局にどう立ち向かうか――市場から連帯へ』斉藤日出治　著		
［出版］	読書の薦め『わたしが選んだこの一冊』		
［出版］	内藤湖南研究会編『内藤湖南未収録文集』		

2019年

［就任］	野家啓一氏（科学史・科学哲学、言語哲学、物語り論）主任研究員		
［受賞］	渡辺京二主任研究員の著書『バテレンの世紀』が第70回読売文学賞評論・伝記賞を受賞。		
［研究会］	日中民間文化交流「内藤湖南を語る会」。山田伸吾（内藤湖南研究会）、賀衛方中国・北京大学法学院教授ほか。（7/1）京都		
［研究会］	第17回合同研究会（8月）	「3・11以後の科学技術と倫理」野家啓一新主任研究員、各研究会の報告	
［出版］	木村敏・野家啓一監修『人称をめぐって――臨床哲学の諸相』		
［出版］	研究論集　第14集　「東アジア世界の歴史と現代－グローバル化の中で」		
［出版］	推薦図書『わたしが選んだこの一冊』編集　全塾生に配布　（2019～2022）		
［逝去］	丹羽健夫（83）主任研究員（4/9）		

2020年

［研究会］	第18回合同研究会　「あらためて「教育」とは何か、《予備校文化》とは何だったか」青木和子		
［出版］	研究論集　第15集	〔論考〕「内藤湖南『燕山楚水』を巡る問題状況についての解題と解説」山田伸吾　〔研究ノート〕「阿片戦争と魏源・包世臣に関する研究再考」大谷敏夫　〔特別寄稿〕「村上春樹『東京奇譚集』について――人間としての再生へ――徐谷〓	
［出版］	推薦図書『わたしが選んだこの一冊』		

2021年

［顕彰］	渡辺京二主任研究員が熊本県の「近代文化功労者」として顕彰。		
［研究会］	新型コロナ対応のため、開催できず。それに代わるものとして『河合塾における「予備校文化」とは何だったのか』を制作。		
［出版］	ブックレット41『3・11以後の科学・技術・社会』野家啓一　著		

［出版］	推薦図書『わたしが選んだこの一冊』		
［逝去］	木村敏（91）主任研究員（8/4）		

2022年

［出版］	研究論集　第16集　〔特集〕内藤湖南研究（その2）		
［出版］	推薦図書『わたしが選んだこの一冊』		
［出版］	『河合塾における「予備校文化」とは何だったのか』		
［出版］	河合おんぱろす特別号『予備校空間のドストエフスキイ――学びと創造の場、その伝達のドラマ――』芦川進一　著		
［出版］	ブックレット42『夢と一生』渡辺京二　著		
［逝去］	渡辺京二（92）主任研究員（12/25）		

▼項目一覧

就任	
受賞・顕彰	
逝去	
シンポジウム	
講座	
講演	
セミナー	
研究会	
出版	

▼

・河合ブックレット	1–42
・単行本	32冊（うち講座生命11冊+数学関連4冊+絶版4冊）、予備校文化を単行本に入れるならさらに+1
・河合おんばろす	7(うち増刊号1冊、特別号4冊)
・研究論集	1–16
・文教研れぽーと/文教研の栞	
・推薦図書/読書の薦め	
・数学シリーズ	9（1巻のみ在庫なし、8～9巻未刊）　【1巻は、東京に1冊あります】
・数学基礎論シリーズ	7(0～6巻)